研究課題名	ロコモティブシンドロームの早期発見を可能にする新しいスクリーニング方法の確立およびフレイルやサルコペニアとの因果関係の検証
研究期間	実施許可日　～　2033 年１２月３１日
研究の対象	2021 年 4 月から 2022 年 10 月の間に、研究課題「ロコモティブシンドローム重症度別の体力測定値の統計学的分布」に参加された方。
研究の目的・方法	研究目的： 立つ、歩くといった移動機能の低下を意味するロコモティブシンドローム（ロコモ）は、フレイルの前兆の一つとして考えられています。ロコモはロコモ度テストやアンケートで診断されますが、このテストやアンケートを行う以前にロコモを早期発見する方法は、まだ確立されていません。また、ロコモとフレイルの関係も十分に解明されていません。私たちは以前の研究課題において、握力や開眼片足立ち保持時間といった体力測定値からロコモを発見する方法を提案しました。今回、この方法を確立し、また、ロコモとフレイルおよびその関連要因（サルコペニアなど）の関係を明らかにするため，この研究を計画しました。 研究の方法： 先行研究で収集した情報を、本研究で二次利用いたします。本研究では，体力測定、体組成の計測、アンケートの結果を活用します。
研究に用いる試料・情報の種類	活用する体力測定の結果は、握力、開眼片脚立ちテスト、Timed up & Go テスト、5m 通常・最大歩行時間、立ち上がりテスト、2 ステップテストです。 活用する体組成の計測の結果は、身長、体重、BMI、体脂肪量（部位別を含む）、体脂肪率、筋肉量（部位別を含む）、SMI などです。 活用するアンケートの結果は、年齢、性別、ロコモ 25、フレイルに関する項目（体重減少、疲労感、身体活動）、身体の痛み、転倒についてです。
外部への試料・情報の提供	外部への提供はありません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022 年 8 月 23 日）以降
個人情報の保護	試料・情報を使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、本院の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者（研究代表者）

	広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮 研究機関の長 広島大学理事　田中　純子 業務委託先 有限会社広島入力情報処理センター　業務内容：データ入力
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 〒739-8521　東広島市鏡山 1-7-1 Ｔｅｌ：082-424-6585 広島大学大学院人間社会科学研究科　教授　田中　亮